

静岡県地震・津波対策アクションプログラム 2013 の進捗状況について

(危機政策課)

1 要旨

第4次地震被害想定において推計された被害をできる限り軽減するため、平成25年に「地震・津波対策アクションプログラム2013（以下、AP2013）」を策定し、建物被害、火災、山・がけ崩れ等の広範な地震対策及び津波対策に全庁を挙げて取り組んでいる。

2 進捗状況

- 第4次地震被害想定を踏まえ、想定される犠牲者を2022年度までに8割減少させることを減災目標に、189のアクションの着実な実施に努めており、9割以上（95％）にあたる179アクションが順調に進捗している。
- AP2013の策定以降、住宅の耐震化や防潮堤の整備などのハード対策と、津波避難施設の確保等によるソフト対策を組み合わせた取組を進めてきたことにより、令和元年度末時点の減災効果の試算結果は、想定最大犠牲者約105,000人に対し、約7割減となった。
- 減災目標である8割減災達成に向けては、想定犠牲者の9割以上を占める津波に対して、早期避難意識を高めるためのアクションである「わたしの避難計画」を今年度中に津波浸水想定区域に普及することにより達成を目指す。

